



児童自ら学びを深める算数科授業の創造～一斉授業を軸とした協働的な学びや個別(最適)な学びの取組を通して～

「挑戦と創造」 学び深く 志高く 未来を拓く

研修だより

令和8年4月9日
世羅町立せらびがし小学校
No.2

今年度のノート指導のキーワード

ノートを「黒板を写すもの」から、「問題解決のための試行錯誤し、思考の軌跡を残すもの」へと位置付けを変える。

つまり、児童が

- ①個別の時間において、自分の考え
- ②協働の時間において、自分にはなかったもの(考え・表現方法) をノートに自分から表現する。

板書について

7/7 円と正多角形

問 折り紙を使って正八角形を作ろう。

角の大きさも 辺の長さも等しい

辺の長さがちがう

角の大きさと辺の長さを等しくするには どうしたらよいだろう。

角の大きさを等しくしたい!
円の中心のまわりを
8等分したらよいから
 $360 \div 8 = 45$ で
 45° ずつに等分する。

辺の長さを等しくしたい!
中心に合わせて
円をかくと
等しい長さがとれる。

問 正〇角形は作れるだろうか。

角の数がふえるにつれ、円に近づく。

中心のまわりの角を■等分して●
ずつに分けると正■角形がかけると。

②児童の困り感
や課題を共有

①問題提示

③めあての設定

子供の思考に沿った言葉で
赤色のマグネットシートに書く。

⑤まとめ

青色で囲む。

問 グラウンドのレー
トラック1周は何m?

長方形と円
まわりの部分がある!

直径 22m
横 24m

円周 = 直径を調べると
円周 = 直径 \times 3.14
円周は直径の3.14倍

め 円周でどのよりに使うのかな。

$22 \times 3.14 = 69.08$

24m
24m

24 \times 2 = 48

69.08 + 48 = 117.08

答え 117.08m

ま トラックの長さは

117.08

27th
Friday

如月
日
日
直

④個別の時間・協働の時間 まとめに繋がるキーワードを板書に残す。

⑥ふりかえる

- 児童が
- ①個別の時間において、自分の考え
 - ②協働の時間において、自分にはなかったもの(考え・表現方法) をノートに自分から表現するためには…
- 教師が
- ①学びの過程が見える板書を構成する。
 - せらひがしの板書スタイルを算数科のどの授業においても行う。
 - ②個別の時間において、積極的に自分の考えを書くように指導する。
 - 言葉や絵、図、式などを用いて表現させる場を繰り返し行う。
 - ③協働の時間において、自分にはなかった考えを見付けた際には、メモを取るように指導する。
 - きらりノートを教室に掲示する等して、教師側が望ましいノートの取り方を示す。
 - ④(ノート指導と連動した自主学習の指導を行う。)

ノートについて

2/5 箱の形を調べよう

問 ■○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○ ※書き出し1マスあける

答 ■○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○ ※書き出し1マスあける

※自分の考えを書く際には、**気付いたことを吹き出しなどで書く**ように指導する。
※協働の時間で自分にはなかった考えを見付けた際には、メモを取るように指導する。

■○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○ ※書き出し1マスあける

②児童の困り感や課題を共有

③めあての設定 赤鉛筆で囲む。

④個別の時間

①問題提示

④協働の時間

⑤まとめ
板書のキーワードをもとに自分の言葉でまとめ、青鉛筆で囲む。

⑥ふりかえる
ふりかえりの視点をもとにふりかえる。